

消防団を力強く バックアップ!!

～地域で消防団を応援しよう～

全国的に減少している消防団員。その原因は、20代から60代までの人口が減ったことと、その世代の多くが雇用され、地域の活動に参加しにくくなったためといわれています。本市でも平成22年に1,991人いた消防団員が28年には1,865人にまで減少しました。私たちの安心で安全な生活を守ってくれる消防団員の確保に向けてさまざまな取り組みを進めてまいります。

消防団の仕事って

災害時は… 火災現場での消火活動や地震・風水害といった大規模災害時の警戒巡視、避難誘導、災害防御などさまざまな現場で活躍しています。

火災予防のため… 火災の多い時期には消防車で夜回りをして注意喚起をしています。

防火指導として… 家庭に訪問し、防火指導をしたり、防火設備が整っているかななどを点検。高齢者宅へ様子を見に行き、実際の災害時に援護が必要な人を把握します。



本市出身の漫画家、吉田戦車さんが消防団のために描いた短編マンガを市消防団ホームページで公開。また、そのキャラクターを活用したポスターを制作し、市内のいたるところで掲示します。ぜひ、ご覧ください。



**消防団短編マンガを公開!!
ポスターの掲示にご協力を**

消防団ホームページを開設



消防団ってどんな活動をしているの? 意外と知られていない本市消防団の活動について写真を交えて紹介します。若い男性団員や女性団員の素顔にもクローズアップ。素敵な消防団員に出会えるかも。

※ 2月1日から
公開予定



消防団員やその家族に「お疲れさま」のおもてなしを…

普段それぞれの仕事を持ち、いざ火災や自然災害が発生すると、地域の守り手として一生懸命活動する消防団員。そんな消防団員やその家族に心温まるサービスや割引をしていただける事業所(消防団応援の店)を募集しています。なお、消防団応援の店は、市消防団ホームページにて紹介します。

消防団応援の店を大募集



テーマ ILC実現に向け

Q 奥州市の魅力は自然資源。ILC実現に向けて、林業振興、景観保全、観光振興が実現できるよう、一

Q 奥州市は農業が基幹産業である。中山間地の農業の担い手は定年退職者が実情であり、協働のまちづくりの観点で、中山間地へのアドバイスもいただきたい。
A 協働の理想は、3、4人の人間が、10人でできる何かをやりたいと思ったときに、そこに行政などからの少しのサポートを持ち寄ることで実現させるというものです。こうした協働の取り組みを通じて、少しでも農業振興が図られるよう努力します。

テーマ 新病院の建設

Q 新たな市立病院にはぜひ産科を。人口減少対策をいろいろと取り組んでも、根本的に産めない状況を改善しないといけない。
A 周産期医療の充実が重要です。産科の対応に

Q ILCについて、奥州市の具体的な協力内容を、国際会議の代表者に伝えたいのか。国に対してどのようなお願いをしているのか。
A ホームページにより海外に向けた情報発信をしています。また、全国市長会では国へ働きかけています。近隣市町の広がりの中でみんなが切望し、市民も具体的に行動している姿などを全国に発信していきます。

A 体となった取り組みを展開してほしい。
本市の山林・自然を有効活用しつつ、環境の美化、観光の振興も大事に扱っていききたい。対応が可能なものを具現化していきます。

テーマ 教育課題の解決

Q 「幼小連携」に加え、「小中連携」も進めてほしい。

A 「幼小連携」は小学校入学後のギャップをなくするためのスタートカリキュラムとして実施するもの。「小中連携」は既に実施していますが、現状における課題解決に加え、「中高連携」も含めて検討していきます。

Q 幼稚園・保育園がこども園に移行するなどの動きがあるが、待機児童がいるということは、どこか施設の運営に問題があるのでは。
A 保育園と幼稚園、さらに都市部と周辺部など施設間ギャップが生じていることは確かです。特に0歳児の待機児童の増加が課題とされ、保育士が不足している状況です。現在検討組織を設け

はさまざまな課題があるものの、新病院では医師の働きやすい環境も重要な視点と認識しています。

テーマ 胆沢ダムの活用

Q 胆沢ダムでは、水源地域活性化ビジョンを策定、カヌー体験・ダムカフェなどの事業を実施し、観光客数は、28年11月までに6万6千人を数えた。総合計画でも胆沢ダムの有効活用を明確に位置付けてほしい。

A 29年8月にカヌーのジャパンカップの開催を予定し、以後毎年の開催や規模拡大を期待しています。胆沢ダムを活用した取り組みは、これまで検討してきた内容が徐々に具現化し、効果が表れてきています。今後も、胆沢ダムを積極的に活用していきます。

テーマ 交通政策について

Q 免許返納後の交通手段に不便を感じている。

市民の皆さんからいただいたご意見を、これからの市政運営に生かしていきます。ご参加ありがとうございました。

Q 「交通網の整備」について、具体的にどのような検討がなされているのか。

A 市が関与するバス交通を中心に、高齢者や交通弱者の利便性について全市民的に見直し、財源などの状況を踏まえながら、できるだけ多くの皆さんに納得してもらえるものを目指していきます。

A 住民の利便性を考え、前向きに検討し方向性を示してほしい。市ではコミュニティバスの割引券を発行していますが、それが十分な対策とは思っていません。免許所持者で返納した人と、もとの免許不保持者に公平な仕組みを作ることが課題で、他市の取り組みを参考に検討していきます。

